

忍務 その1 甲賀流忍者の人気を調査せよ



大阪府池田市が甲賀流忍者に注目 「池田忍者甲賀衆」が甲賀市で忍者修行

忍者ショーなどのPR活動を行っている大阪府池田市職員の有志「池田忍者甲賀衆」が12月14日、忍者の本場甲賀市を訪れ、忍者としてのレベルアップを図るとともに、交流を深めようと、「忍者修行」を行いました。

池田忍者甲賀衆は、かつて池田市に「甲賀谷町」という地名があったことから、「甲賀忍者と関係があったのでは」と考え、忍者で観光客を呼び込もうと結成されました。



▲「甲賀の里 忍術村」で手裏剣投げや水蜘蛛など本格的な修行や、甲賀市役所で忍者の末裔であり甲賀忍術研究会の渡辺俊経さんから、甲賀流忍者の歴史や実態を学ぶ池田忍者甲賀衆の皆さん

ふるさと「甲賀市」を盛り上げたい オリジナル忍者衣装の製作に挑んだ 丸越むらき 代表 村木慶太郎さん

忍者衣装を作っているところが市内に無く、観光協会から依頼されたことが、忍者衣装を作り始めたきっかけです。できるかできないかわからない段階で、ふるさとである甲賀市が盛り上がるなら、少しでも地元で貢献できればという思いで引き受けました。

こだわった部分は、気軽に着れるように、忍者衣装のパーツをできるだけ少なく、4点にしたことと、胸の「甲賀流」という文字を書道の先生に書いていただいたことなど、他にもたくさんあります。1からオリジナルで忍者衣装を作るにあたり、縫製屋さんとのやりとりが最も苦労しました。普段は小売で、商品の製作はしていないため、ものづくりの大変さを感じました。

また、ふるさと納税の返礼品ということで、日本製にもこだわっています。製作に関する全ての工程が地元でできれば一番いいですね。

甲賀市には忍者だけでなく、信楽焼やお茶など宝がたくさんあります。日本遺産に認定され、国内外から注目される「忍者」をきっかけに、甲賀市を訪れていただき、その他の魅力も知ってもらえればと思います。



市では、ふるさと納税の返礼品として忍者関連商品を揃えており、他にはない返礼品として好評です。

- 甲賀流忍者衣装 長袖・半袖
- 手裏剣5枚セット
- 甲賀の里 忍術村 入村券・貸衣装券・手裏剣体験（2名分）



ふるさと納税返礼品の忍者関連商品も好評



なぜ「忍者」を 活用するの？

忍者は、国内外からの認知度が非常に高く、特に今後2020年の東京オリンピック・パラリンピックや2025年の大阪万博と、世界中



重要な分野といえます。観光客は、飲食店や土産物店、宿泊施設、交通機関などさまざまな産業を利用します。市内を訪れる観光客が増加すると、市内のさまざまな産業が活性化し、雇用の創出や生活インフラの維持など甲賀市全体の発展につながります。つまり、観光は高い「経済波及効果」を生むことができる総合産業です。

近年、人口減少により、地域経済が縮小し、雇用も減少、それに伴う若年層の転出増加や生活インフラの縮小が懸念される中、非常に重要な分野といえます。

なぜ観光振興に 力を入れるの？



甲賀市は忍者のまちとして知られており、平成29年には「忍びの里 伊賀 甲賀ーリアル忍者を求めてー」が日本遺産に認定されました。今後、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2025年の大阪万博などこれからの世界中が注目するイベントに向けて、甲賀市をますます盛り上げ、広くアピールするためには、皆さんの力が必要です。日本中、世界中へその魅力を発信していただくために、「甲賀流忍者」の魅力を特集します。



の注目が集まる大きなイベントが控えていることから、観光資源としての「忍者」を活用することで、幅広い注目を集めることができます。特に最近では、外国人観光客に向け、日本のあちこちで忍者を使った観光施設等ができています。そのような状況の中、甲賀市の強みは「かつて実際に忍者が存在した地域」ということです。本物の忍者、リアルな「甲賀流忍者」を前面に押し出してアピールすることで、多くの集客につながります。

